

篠路中学校

図書館だより



【発行】2022.7.1
学校司書：富田真由美

今日から7月です。多くの学びと楽しい思い出いっぱいの旅行的行事が終わり、今は中体連の真ただ中。先日、野球会場の片隅で、試合開始前に監督が3年生と思われる選手4名を前に、コロナ禍で十分に練習をできなかったことやこれまでの頑張り^{ねぎら}に対する労いの言葉をかけている場面を見かけました。胸の熱くなる光景でした。勝ち負けの向こう側にある大切なものを手にできれば最高ですね。

さて、今日から **夏休み長期貸出が始まります！ 《7月1日～13日・22日》**

新着図書104冊入りました！ 8月31日までず～っと借りられます

※皆さんから購入希望のあった図書も間もなく入る予定です。お楽しみに！

(北海道新聞6月2日付朝刊より)

言葉は学びの土台で 生きることに直結する

読書で言葉の貯金を

俵万智(たわら・まち)
歌人
歌集『サラダ記念日』
で一躍人気の歌人に。



「この味がいいね」と君が
言ったから七月六日は
サラダ記念日

「国語は言葉を学ぶ時間です。社会も数学も全部言葉を使う。だから、言葉は学びの土台で、生きることに直結します」と俵万智さん。「好きな分野の本を読んで、今の時間を大切にしてほしい」と語りかけていました。大学生の息子さんの言葉もまた名言。「集中は疲れるけれど、夢中は疲れない」。皆さんも夢中になれるものにアンテナを張り、好きなものに出合うためにも本を読んで、生きる世界を広げ、言葉の力を身につけられるといいですね！

7月4日(月)のお昼のTV放送でも新着図書の案内を図書局員がしますので、朝の読書や夏休みの読書の参考にしてください。以下、TV放送では取り上げられなかった本を紹介します。

『自分のミライの見つけ方』 児美川孝一郎



これまでの常識が通用しない未来を、僕たちはどう働き、どう生きるか。若い世代に向けた、まったく新しいキャリアデザインのヒント。「やりたいこと探し」になんか悩まなくていい。「なりたい職業ランキング」に意味はない。この本で新しい視点=武器を手にすることで僕らはもっと自由になれるはず。自分らしいキャリアを歩み出すための1冊。

はもっと自由になれるはず。自分らしいキャリアを歩み出すための1冊。

『日本に現れたオーロラの謎』 片岡龍峰



『日本書紀』に記された日本最古の「赤気(せっき)」はオーロラだったのか？鎌倉時代の藤原定家の日記『明月記(めいげつき)』、江戸時代の『星解(せいがい)』、昭和33年の連続写真を基に、日本オーロラ史をひもとくと、時空を超えた旅が始まる。北海道でも10年に一度くらい、磁気嵐により赤いオーロラが見られている。

『クリスマス・ピッグ』 J・K・ローリング



ジャックとぬいぐるみは、魔法の旅を始めます。失われたものを取り戻し、親友を見つけるために。少年が宝物にしているぬいぐるみへの愛情と、失ってしまった宝物を見つけるために乗りだす長い旅を描いた、心温まる冒険物語。

『ケケと半分魔女』 角野英子



ケケが描く、物語の主人公の名前はタタ。4歳のときに母親をなくしたこともあって、いつも自分は半分だと心もとなく思っているタタは、ある日とつぜんひとり旅立つ決心をし…。『魔女の宅急便』スピンオフ・シリーズ第3弾。

『文豪中学生日記』 小手鞠るい



「書くこと」が大好きなハルキは、国語以外の成績は振るわないものの、文芸部の部長として周囲の信頼も厚く、中学最後の年を楽しく過ごしていた。ところが、SNSでの誹謗中傷から歯車が狂いはじめ、運命は思いもかけない方向へ…。さわやかな青春小説。

『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』 山極寿一



2020年まで京大総長を務めていた筆者から若者へ送るエール。40年以上ゴリラの行動や生態を研究している山極先生は、ゴリラは一番人間に近い動物で、「人間らしく生きること」とは何かに気づかせてくれるという。スマホばかりをいじっている私たちに、

「自分を積極的に表現し、相手と一緒に行動することが信頼を築く」と伝えてくれる。たくさんの著書の中でも一番やさしい文章で読みやすい。

『時代をきりひらいた日本の女たち』 小杉みのり



かつて自分の可能性を追求し、生きる道を見つけるために奮闘した日本の女性たちがいた。実業家・広岡浅子、科学者・猿橋勝子、登山家・田部井淳子ら、熱く、激しく生き抜いた31名の物語を紹介。勇気と元気をもらえる1冊。豊富な注釈付き。

『パンダとわたし』 黒柳徹子と仲間たち



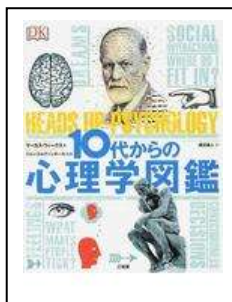
上野の双子パンダや和歌山の大家族など、パンダ愛がさらに深まるパンダうんちく満載のパンダファンにおくるパンダ読本。パンダの魅力をパンダ歴75年の黒柳徹子さん、上野動物園元園長・土居利光さんやパンダ班前班長・廣田敦司さんらパンダ賢人が語り尽くす。漫画家の西村ツチカさんのカバーイラストにも注目。

『ミシンと金魚』 永井みみ



【第45回すばる文学賞受賞作】選考委員絶賛！この物語が世に出る瞬間に立ち会えたことに、心から感謝している（金原ひとみ）、ただ素晴らしいものを読ませてもらったとだけ言いたい傑作である（川上未映子）認知症のカケイさんが語る壮絶な人生に引き込まれていく。世代を問わずすべての人に読んでほしい。

『10代からの心理学図鑑』 マーカス・ウィークス



「私って何？」「自分らしさって何？」「脳と心はどう違う？」「人はなぜ悪いことをしてしまうの？」人の心をめぐる素朴な疑問に、実例や図解でわかりやすく答える入門書。発達心理学・生物学的心理学・認知心理学・差異心理学・社会心理学の基礎を網羅する本格的な内容で、10代から大人の読者まで、楽しみながら学べる1冊。